学校番号	105

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日文出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・義務教育で学んだ美術をさらに発展させて作品を作る。
・絵画表現の実際、デザインの実際を社会という大きな世界の中で肌で感じる。
・義務教育では使用しなかった素材、道具などを使い新しい表現方法を学ぶ。

２　学習の到達目標

・義務教育で学んだ基本をベースとし、さらなる深みの作品を作るための構想力、表現力など身につける
・デザインや絵画の技法を使い、実社会の中でいかに使われているかを学ぶ。
・合評を通じて、他人の言いたいこと、自分のいいたいことを伝える能力を身につけ、互いの意思疎通ができる品言を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・美術の創造的活動の喜びを感じ、多様な表現方法を学び、美術に関心を持たせる。テーマに合わせた主体的な描写表現や鑑賞活動に取り組む。	・感性や想像力を働かせ、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫している。	・美術や美術文化を幅広く理化し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・ワークシート	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	絵画	・オートマティズムによる夢の世界 ・合評	○	○	○	○	a:感受性 b:絵画構成 c:彩色技能 d:オートマティズムの理解・歴史	・観察 ・提出作品 ・ワークシート
2	立体	・言葉からイメージ表現した立体製作 ・合評	○	○	○	○	a 感受性・ひらめき: b:立体把握 c:道具の正確な使用 d:確かな形容詞の確認	・観察 ・提出作品 ・ワークシート
2	デザイン	文庫本の表紙の作成	○	○	○	○	a:文章からのテーマ b:テーマからの平面構成 c:正確の彩色 d:合評の自己表現	・観察 ・提出作品 ・ワークシート
3	版画	・木版画 ・合評	○	○	○	○	a:テーマの把握 b:平面構成 c:道具の使用 d:版画の種類、歴史	・観察 ・提出作品 ・ワークシート
3	デザイン	・CDジャケットの製作 ・合評	○	○	○	○	a:音楽特性の理解 b:自己表現の確認 c:テーマにあった彩色 d:合評の自己表現	・観察 ・提出作品 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。